

2021年10月21日

報道関係各位

公立大学法人北九州市立大学

**(一社)「日本グリーンLPGガス推進協議会」と
北九州市立大学の連携[受託研究]について**

LPG輸入元売りの大手5社（アストモスエネルギー、ENEOSグローブ、ジクシス、ジャパングスエナジー、岩谷産業）が一般社団法人「日本グリーンLPGガス推進協議会」を設立し、LPG（プロパン・ブタン）のグリーン化事業を共同して進めていくとの記者会見を10月20日(水)に実施しました。

グリーン化事業の実施に当たっては、協議会と本学が連携して事業に取り組んでいく予定であり、本学の藤元 薫客員研究員[東京大学名誉教授、(一社)HiBD研究所代表、北九州市立大学名誉教授]が自らの知見を活かし、LPGの新たな製造技術を確立していきます。

(詳細は添付の「日本グリーンLPGガス推進協議会」記者会見資料をご確認ください)

<問合せ先>

【研究内容に関すること】

北九州市立大学 客員研究員 藤元 薫 TEL : 093-695-3202

【日本グリーンLPGガス推進協議会に関すること】

日本LPGガス協会 上平、三木田 TEL : 03-3503-5741

【その他契約等に関すること】

北九州市立大学 企画管理課企画・研究支援係 今泉 TEL : 093-695-3311

令和3年10月20日

日本グリーンLPガス推進協議会

一社「日本グリーンLPガス推進協議会」の立ち上げについて（プレス発表原稿）

LPG輸入元売りの大手5社（アストモスエネルギー、ENEOSグローブ、ジクシス、ジャパンガスエナジー、岩谷産業）は、一般社団法人「日本グリーンLPガス推進協議会」を今般新たに設立し、LPG（プロパン・ブタン）のグリーン化事業を共同して進めることとなった。

具体的には、水素と二酸化炭素（CO₂）を合成させ、メタノール等への改質プロセスを経たうえで、100%近い収率でLPGを製造する新たな技術（プロパネーション・ブタネーション）を北九州市立大学との連携によって確立する。FT（フィッシャー・トロプシュ）を始めとする従来の燃料合成技術では、CO₂を一酸化炭素に置換する必要があるが、新技術ではCO₂を直接水素と効率的に反応させ、高い得率でのLPG製造が可能となる。当協議会はこの分野で世界的な権威である北九州市立大学客員研究員の藤元薫氏（東京大学名誉教授、一般社団法人HiBD研究所代表、北九州市立大学名誉教授）から全面的な研究協力を得ることによって、早期の実証化を目指す。

また、当協議会では、LPGと類似した特性を有するDME（ジメチルエーテル）からLPGを製造する技術の確立に向け、上記研究と並行して、大手触媒メーカー等との共同研究開発を進める。

当協議会では、ふたつの実証試験結果を3年後を目途に検証のうえ、双方の研究を通じて得られた技術を用いて下水処理汚泥施設から発生するバイオ原料等から得られた水素とCO₂を利活用することによって、2030年前半には年間3万トン規模のカーボンフリーなLPG（グリーンLPG）の社会実装の実現を目指す。

LPGは一般家庭や業務用を始め、化学原料や自動車燃料、都市ガスの熱量調整原料など、幅広い用途で使われており、昨年度の国内需要は約1,300万トンに上る。LPGは可搬性に優れ、劣化しない特性を有しており、災害対応力の強化に向けた備蓄用燃料としての他、LNGと同様、硫黄含有量が殆どないといった環境特性によって、船用燃料としての新たな需要も期待されており、燃焼機器の省エネ化や人口減が進むなかにあっても、政府の試算でも2050年時点で相当量の需要量が残ると見込まれている。LPGのグリーン化を巡っては、バイオ原料の利用だけでは資源に限界があるため、将来的にはグリーン水素等を利活用し、LPG需要全量のグリーン化を進めて行く考えだ。

5社が会員となっている日本LPガス協会（会長、アストモスエネルギー社長 小笠原剛氏）では、昨年秋に「グリーンLPガスの生産技術開発に向けた研究会（座長：早稲田大学、関根泰教授）を立ち上げ、今年4月には、LPGのグリーン化に向けた今後の課題と方向性に関する報告書をまとめた。今回の協議会設立は、同研究会からの流れに沿ってグリーンLPGの社会実装に繋げて行くためのもので、初代の協議会代表理事には、同協会会長の小笠原氏が就任する。

【本件に関するお問い合わせ先】

事務局（日本LPガス協会） 上平、三木田
電話 03-3503-5741

以上

一般社団法人「日本グリーンLPガス推進協議会」の概要

| | | |
|---------|---|--------------------------------------|
| 法人名称 | 一般社団法人 日本グリーンLPガス推進協議会 (英文名 : Institute of Japan Green LP Gas Promotion) | |
| 所在地 | 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目14-1 郵政福祉琴平ビル4階 (日協事務局内) | |
| 創立 | 令和3年10月18日 | |
| 代表理事・会長 | 小笠原 剛 | |
| 主な活動事業 | カーボンニュートラルなLPガスの製造技術開発を進め、社会実装に繋げて行くことを目的とした次の事業。 (1) バイオ DME(ジメチルエーテル)を用いたLPガスのグリーン化事業 (2) 水素と一酸化炭素・二酸化炭素を用いたLPガスのグリーン化事業 (3) その他、LPガスのグリーン化に向けた製造技術開発、ならびに社会実装の目的を達成するために必要な事業 | |
| 会員企業／団体 | 【正会員】 アストモスエネルギー株式会社 ENEOSグローブ株式会社 ジクシス株式会社 株式会社ジャパンガスエナジー 岩谷産業株式会社 【準会員】 日本LPガス協会 | |
| 役員構成 | 代表理事 (会長) | 小笠原 剛 (アストモスエネルギー株式会社 代表取締役社長) |
| | 理事 (副会長) | 岩井 清祐 (ENEOSグローブ株式会社 代表取締役社長 社長執行役員) |
| | 理事 (副会長) | 野倉 史章 (ジクシス株式会社 代表取締役社長) |
| | 理事 | 大浜 健 (株式会社ジャパンエナジー 代表取締役社長) |
| | 理事 | 間島 寛 (岩谷産業株式会社 代表取締役 社長執行役員) |
| | 業務執行理事 | 吉田 栄 (日本LPガス協会 専務理事) |